

9月に入ってもまだまだ暑い日が続いていますね。引き続き熱中症に気をつけて対策をしていきましょう。

今回の SPS 通信は、7月に実施した学校安全の取り組みについて紹介します。

7月の取り組み

- | | |
|-----------|---|
| 7月 5日 (土) | 学校安全授業（生活安全）、保護者心肺蘇生訓練（ASUKA モデル視聴後）
引き渡し訓練（スクールバス乗車時の災害対応） |
| 18日 (金) | 赤十字救急法講習「傷の手当止血と包帯」 日本赤十字社 兵庫支部 |
| 29日 (火) | 先進校視察（SPS 認証校） 高槻市立寿栄小学校視察
(参加者：河合小学校・河合中学校・小野特別支援学校・小野市教育委員会) |



<学校安全授業（生活安全）>（学習参観日、保護者）

7月5日（土）の学習参観日に、学校安全（生活安全）の授業を行いました。

ヒヤリハットの事例から、児童生徒の実態に合わせて指導案を作成し、授業を行いました。

学級	単元名	内 容
雪組	「口の中の健康」	・食べられるもの食べられないものを知る。 ・食べ物の硬さや味を感じる。よく噛むこと。
月組	「はみがき名人になろう」	・模型を使って歯磨きの仕方を知る。 ・歯の汚れを視覚化し、磨いてきれいにする。
星組	「これって食べられる？」	・食べてはいけない、口にしてはいけない物を知る。 ・食べていいもの、良くないものの見分け方を知る。
宙組	「あるこう まもうろ みんなのあんぜん！」 ～教室・廊下・交差点でのヒヤリハットから学ぶ～	・校舎内の危険について知る。 ・正しい教室や廊下での過ごし方を実践する。
中1組	「ヒヤリハットすごろくをしよう」	・身近に潜んでいるヒヤリハットについて知る。 ・すごろくを通して安全に学校生活を送るための方法を考える。
中2組	「ヒヤリハットからリスクマネジメントをしよう」	・食べ物が喉に詰まる危険を知り、詰まらない方法を考える。 ・「30かいかる」の掲示物を作る。
中3組	「バギーの友だちへの関わり方」	・車いすに乗り、バギーの生徒が感じる危険について知る。 ・バギーの生徒へ適切に声掛けができる。

小学部では、「何でも口に入れてしまう」というヒヤリハット事例からの学習内容を設定することが多く、エプロンシアターやクイズ形式等で児童が意欲的に学びに向かうことができるよう工夫して授業を行うことができた。また、歯磨きを通して、口の中の感覚や清潔、衛生に意識を向けられるような学習も行った。高学年では、校舎内の身近なヒヤリハットを児童が改めて知り、どうすれば安全に過ごすことができるかロールプレイ等を交えて理解を深めることができた。



中学部では、ヒヤリハット事例を、すごろくの中で「安全クイズ」としてマスを複数設定し、ゲームを通して学ぶ活動を行っていた。安全クイズに正解すると安全のしるしとしてヘルメットを獲得でき、好きなヘルメットを獲得しようと学級みんなで協力して安全について真剣に考え答える姿が見られた。また、「食べ物をのどに詰まらせる」ヒヤリハット事例から、窒息の危険を知り、よく噛むことを心掛けるために掲示物を作る学級もあった。他には、学校で色々な児童生徒が生活しており、小さい児童から大きな生徒、バギーで過ごす児童生徒がいて、それぞれの目線から危険に感じることが違うことを学んだ。その後、親子で実際に車いすに乗って廊下を行き来し、体験を通して危険な場面と安心な声かけについて学んだ。

<引き渡し訓練>（スクールバス乗車時の災害対応）

7月5日（土）に、スクールバス乗車時に災害が発生した際の対応訓練を行った。スクールバス下校時に、震度5強の地震が発生したことを想定し、安全な場所で、保護者に確実に引き渡す訓練を行った。

それぞれのバスが市役所や消防本部前、近隣の河合小学校、河合中学校に停車し引き渡しを行った。

スムーズに引き渡しがができるよう、それぞれのバスごとに「駐車場誘導」「保護者誘導」「引き渡し票案内」「引き渡し票確認→引き渡し」「児童生徒の心理的ケア」の担当を割り振った。それぞれが声を掛け合い、安全で確実な引き渡しを行うことができた。

また、この訓練を通して、緊急時のスクリーレの登録の状況や、配信のスピードも確認することができた。いざという時に備えて、速やかに行動できるように訓練を積み重ねていきたい。



<赤十字救急法講習　きずの手当、止血>（日本赤十字社　兵庫支部）

7月18日（金）に、赤十字救急法講習を受講した。

内容は、赤十字救急法の「きずの手当、止血」で、日本赤十字社兵庫支部の指導員2名に、テキストで手当の基本を学んだ。きずの種類による手当のポイントや注意事項、止血法の種類や止血の理論など基本的なことを教えてもらった。



その後、三角巾を用いて、きずの手当や止血の方法について手当を行う体の部位ごとにペアや3人グループで実演した。巻き方が分からぬ時やこの巻の強さで手当にならぬ時もあり、積極的に質問しながら実技に取り組んだ。実際の場面を想定し、いざという時に行動できるようしていきたいと思った。全職員が安全意識を高める講習になった。

<高槻市立寿栄小学校　視察>

7月29日（火）に、先進校視察（SPS認証校）として、高槻市立寿栄小学校を訪問。

本校と近隣の河合小学校、河合中学校、小野市教育委員会、合わせて16名が合同で視察を行った。

○寿栄小学校の取り組み

- ・毎年4月に校内研修で、2018年に起きた大阪北部地震において、ブロック塀が倒壊し登校中の児童が下敷きになり亡くなつたことを風化させないために全職員に「語りついでいく」ことを行っている。
- ・中学校区の小中学校が、SPS認証を受け組織的な学校安全の取り組みを推進している。令和6年に、高槻市教育委員会と大阪教育大学で、安全協働学区を締結している。
- ・「日本一安全・安心な学校づくり」に取り組むために、学校安全を最優先した学校運営を行っている。また、児童が「自分事としてとらえる安全教育」の実践のために授業研究に取り組まれ、中学校区内で授業公開を行っている。
- ・年間5回の危機事象発生対応訓練を実施
(不審者、火災、地震、プール水難、アレルギー)
それぞれに危機管理マニュアルカードがあり役割を振り分けできるように本部に設置してある。
- ・施設の危険な角にはクッション材が取り付けられていた。
外側の窓が外れて落ちた後、すぐにすべての窓が開かないよう固定し修理を依頼していた。丁寧でスピード感のある対応を心掛けられている。



